

(別記様式第1号)

計画作成年度	平成22年度
計画主体	岐阜県 川辺町

川辺町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 川辺町産業環境課
所在地 岐阜県加茂郡川辺町中川辺1518番地4
電話番号 0574-53-7212
FAX番号 0574-53-2374
メールアドレスsangyou@town.gifu-kawabe.lg.jp

- (注) 1 共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記入する。
- 2 被害防止計画の作成に当たっては、別添留意事項を参照の上、記入等すること。

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	イノシシ・アライグマ・ヌートリア
計画期間	平成23年度～平成25年度
対象地域	川辺町

(注) 1 計画期間は、3年程度とする。

2 対象地域は、単独で又は共同で被害防止計画作成する全ての市町村名を記入する。

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状（平成21年度）

鳥獣の種類	被害の現状	
	品目	被害数値
イノシシ	水稲	202.27a
	野菜（さつまいも、くり、さといも、じゃがいも）	33.31a
アライグマ ヌートリア	水稲、イチゴ、トウモロコシ等	被害件数 アライグマ 28件 ヌートリア 16件

(注) 主な鳥獣による被害品目、被害金額、被害面積（被害面積については、水産業に係る被害を除く。）等を記入する。

(2) 被害の傾向

イノシシによる農作物被害が町全域に及び、農業者の生産意欲の低下が懸念されている。有害鳥獣捕獲による捕獲を実施しているが、有害鳥獣捕獲だけでは、農作物被害対策としては限界があり、地域が一体となって防除対策に取り組むことが必要である。

アライグマ・ヌートリアなど特定外来生物の出没がみられ、農作物被害も発生している。

(注) 1 近年の被害の傾向（生息状況、被害の発生時期、被害の発生場所、被害地域の増減傾向等）等について記入する。

2 被害状況がわかるようなデータ及び地図等があれば添付する。

(3) 被害の軽減目標

指標（被害面積）	現状値（平成21年度）	目標値（平成25年度）
イノシシ	235.58a	188a
アライグマ	28件	22件
ヌートリア	16件	12件

(注) 1 被害金額、被害面積等の現状値及び計画期間の最終年度における目標値を記入する。

2 複数の指標を目標として設定することも可能。

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	<p>猟友会に依頼し有害鳥獣捕獲を実施。</p> <p>捕獲助成金の交付</p> <p>狩猟免許試験案内の周知</p> <p>アライグマ・ヌートリアについては特定外来生物に係る防除計画を策定し町民による捕獲を実施</p>	<p>猟友会員の高齢化などにより捕獲員が減少。</p> <p>捕獲のみに頼る対策では、被害を抑制できない。</p>
防護柵の設置等に関する取組	<p>イノシシ柵設置に対する助成</p> <p>鹿塩・神坂地域において農地・水環境保全向上対策事業を活用し、侵入防止柵（電気柵等）や捕獲柵を設置することにより水稻への被害防止対策を行ってきた。</p>	<p>電気柵設置後は未設置の圃場へと有害獣が移動し被害を引き起こしている。</p>

- (注) 1 計画対象地域における、直近3ヶ年程度に講じた被害防止対策と課題について記入する。
- 2 「捕獲等に関する取組」については、捕獲体制の整備、捕獲機材の導入、捕獲鳥獣の処理方法等について記入する。
- 3 「防護柵の設置等に関する取組」については、侵入防止柵の設置・管理、緩衝帯の設置、追上げ・追払い活動、放任果樹の除去等について記入する。

(5) 今後の取組方針

鳥獣の生息状況生息環境等に関する情報把握に努め、効果的な電気柵設置等による防除対策を行い、農業者団体や猟友会との連絡を密にして有害鳥獣捕獲対策への取組を行う。

(注) 被害の現状、従来講じてきた被害防止対策等を踏まえ、被害軽減目標を達成するために必要な被害防止対策の取組方針について記入する。

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

イノシシについては新たな実施隊は設けないが、既存の体制(猟友会会員から町捕獲隊を編成)による捕獲を継続していく。

アライグマ・ヌートリアについては特定外来生物法に基づく防除計画を策定し、狩猟免許を所持していない者でも従事者登録を行い捕獲できるようにしている。

- (注) 1 鳥獣被害対策実施隊のうち対象鳥獣捕獲員の指名又は任命、狩猟者団体への委託等による対象鳥獣の捕獲体制を記入するとともに、捕獲に関わる者のそれぞれの取組内容や役割について記入する。
- 2 対象鳥獣捕獲員を指名又は任命する場合は、その構成等が分かる資料があれば添付する。

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
23年度 ～25年度	イノシシ	猟友会の協力の下、有害鳥獣捕獲の実施。 狩猟免許取得のために、講習会や狩猟免許試験日程を周知し、捕獲従事者の育成・確保に努める。
23年度 ～25年度	アライグマ ヌートリア	特定外来生物法に基づいて策定された防除計画に従って捕獲を行う。

(注) 捕獲機材の導入、鳥獣を捕獲する担い手の育成・確保等について記入する。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方			
岐阜県鳥獣保護事業計画を踏まえ、適正な捕獲を実施していく。			
捕獲実績	イノシシ	アライグマ	ヌートリア
平成19年度	55頭		
平成20年度	86頭		
平成21年度	133頭	10頭	3頭
近年増加傾向にあり、今後も積極的な捕獲を行う必要がある。			

(注) 近年の対象鳥獣の捕獲実績、生息状況等を踏まえ、捕獲計画数等の設定の考え方について記入する。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	23年度	24年度	25年度
イノシシ	140頭	145頭	150頭
アライグマ	15頭	20頭	25頭
ヌートリア	5頭	7頭	10頭

(注) 対象鳥獣の捕獲計画数、個体数密度等を記入する。

捕獲等の取組内容
川辺町全域において、イノシシは年間を通じて銃器、わな猟による捕獲を実施する。アライグマ・ヌートリアについては従事者から実情を聞き、防除の実施方法などに反映させる。

(注) 1 わな等の捕獲手段、捕獲の実施予定時期、捕獲予定場所等について記入する。

2 捕獲等の実施予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
	該当なし

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	23年度	24年度	25年度
イノシシ	電気柵設置に対して補助金交付し、防除対策を行う。 電気柵設置 30基	電気柵設置に対して補助金交付し、防除対策を行う。 電気柵設置 30基	電気柵設置に対して補助金交付し、防除対策を行う。 電気柵設置 30基

(注) 1 設置する柵の種類、設置規模等について記入する。

2 侵入防止柵の設置予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

(2) その他被害防止に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
23年度	イノシシ	間伐事業等を利用した人工林の整備 耕作放棄地の草刈りを推進する
	アライグマ ヌートリア	被害実態の把握に努め広報などを通じて被害防止の啓発を行う。
24年度	イノシシ	間伐事業等を利用した人工林の整備 耕作放棄地の草刈りを推進する
	アライグマ ヌートリア	被害実態の把握に努め広報などを通じて被害防止の啓発を行う。
25年度	イノシシ	間伐事業等を利用した人工林の整備 耕作放棄地の草刈りを推進する
	アライグマ ヌートリア	被害実態の把握に努め広報などを通じて被害防止の啓発を行う。

(注) 侵入防止柵の管理、緩衝帯の設置、里地里山の整備、追上げ・追払い活動、放任果樹の除去等について記入する。

5. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 被害防止対策協議会に関する事項

被害防止対策協議会の名称	
構成機関の名称	役割
なし	

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
川辺町猟友会	野生鳥獣の生態・習性に関する情報提供、捕獲活動を行う。
中濃振興局環境課	有害鳥獣捕獲に係る助言を行う。
可茂農林事務所農業振興課	農作物被害防止対策に係る助言を行う。
可茂農林事務所農業普及課	農作物被害防止対策に係る助言を行う。

- (注) 1 関係機関欄には、対策協議会の構成機関以外の関係機関等の名称を記入する。
2 役割欄には、各関係機関等が果たすべき役割を記入する。
3 被害防止対策協議会及びその他の関係機関からなる連携体制が分かる体制図等があれば添付する。

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

編成予定なし

- (注) 法第9条に基づく鳥獣被害対策実施隊を設置している場合は、その規模、構成等を記入するとともに、実施体制がわかる体制図等があれば添付する。

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

なし

- (注) その他被害防止施策の実施体制に関する事項について記載する。

6. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

捕獲したイノシシについては、現在、捕獲現場で埋葬処理をしている。 アライグマ・ヌートリアについては可茂聖苑にて焼却処分している。

- (注) 肉としての利活用、鳥獣の保護管理に関する学術研究への利用、適切な処理施設での焼却、捕獲現場での埋設等、捕獲等をした鳥獣の処理方法について記入する。

7. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

農業者や農業協同組合、農業共済組合等との連絡を密にして被害状況を的確に把握すると共に、防除と捕獲の両面からの対策を図る。
--

- (注) その他被害防止施策の実施に関し必要な事項について記入する。